

FP-757GX

交流用スイッチング電源

FP-757GX は FT-757GX/SX 用外部交流用電源です。スイッチング方式のため、小型、軽量、薄型で FT-757GX/SX にマッチする高能率な電源です。

定 格

入 力 電 圧	交流 85—132V (170—264V 切換可能)	リ ッ プ ル 電 圧	600mV p-p 20A出力時
出 力 電 圧(注)	直流 13.5V	使用温度範囲	0℃—40℃
出 力 電 流(注)	1A—20A 50%デューティサイクル	寸 法	幅238×高39×奥行238mm
		重 量	約2.1kg

(注) 負荷電流が1A以下の場合には、出力電圧が15V程度に上昇することがあります。

●使 い 方

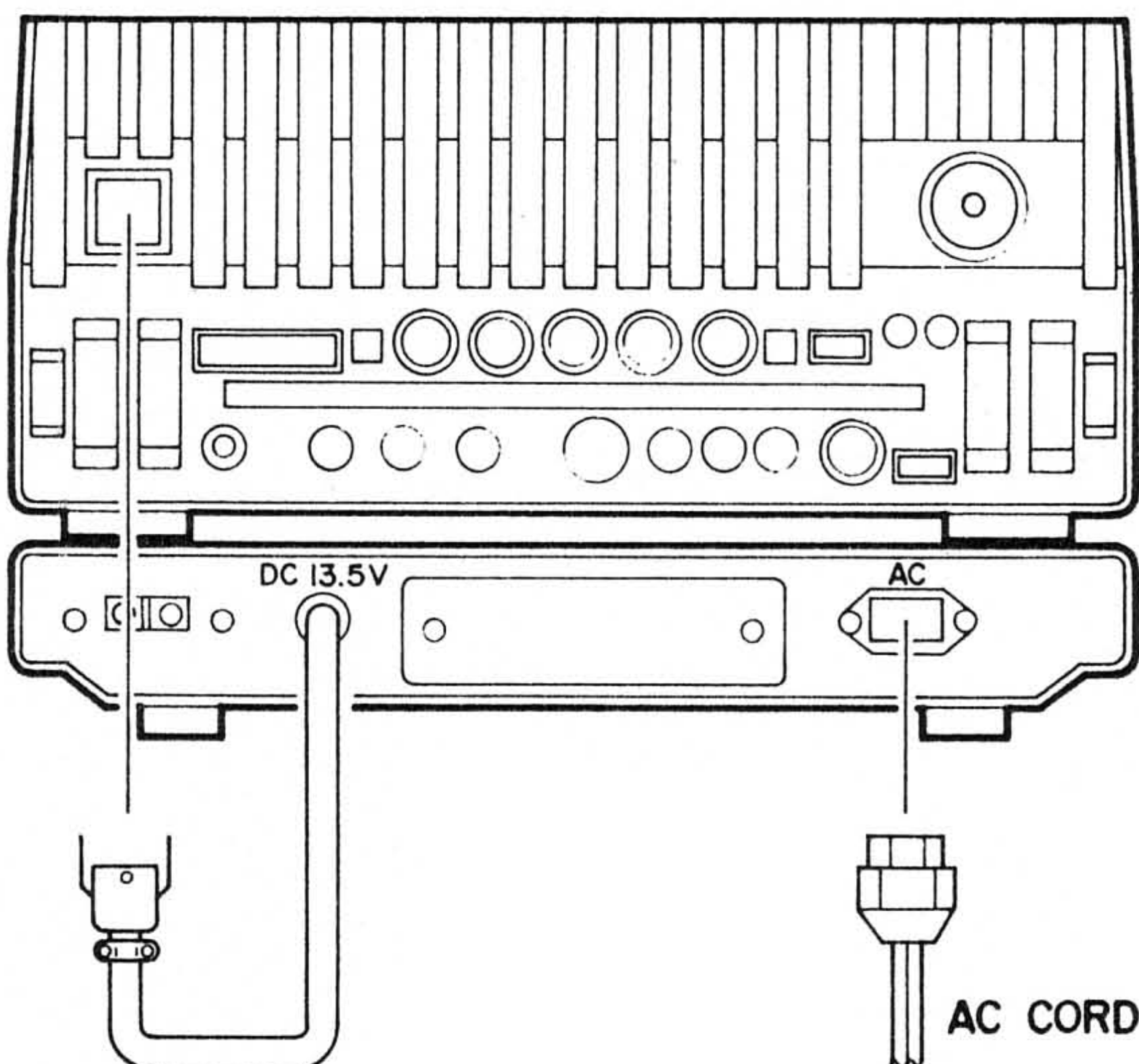
設置場所について

FP-757GX は、高能率のため比較的発熱も少ない電源ですが、一層安定にご使用いただくために、直射日光が当たるなど温度の高くなる場所、湿度の高い場所、風通しの悪い場所などは避けてご使用ください。

接続方法

FP-757GX の背面から出ている出力用コードのプラグを FT-757GX/SX の DC 13.5V 電源コネクタに接続します。

FP-757GX の電源スイッチが OFF になっていることを確認してから交流電源コードを背面の AC コネクタとコンセントに接続します。



FT-757GX/SX

FP-757GX

AC CORD

使用方法

まずFP-757GXの電源スイッチをONにし、次いでFT-757GX/SXの電源スイッチをONにして運用します。

FP-757GXの電源スイッチは独立しており、トランシーバの電源スイッチをON/OFFするだけでなく両方を操作します。出力用コードの着脱や長時間運用しないときにはトランシーバの電源スイッチを切るのみではなく、必ずFP-757GXの電源スイッチも切ってください。

FP-757GXの出力容量は50%デューティサイクル時で最大20A、連続使用では10A以下におさえてください。

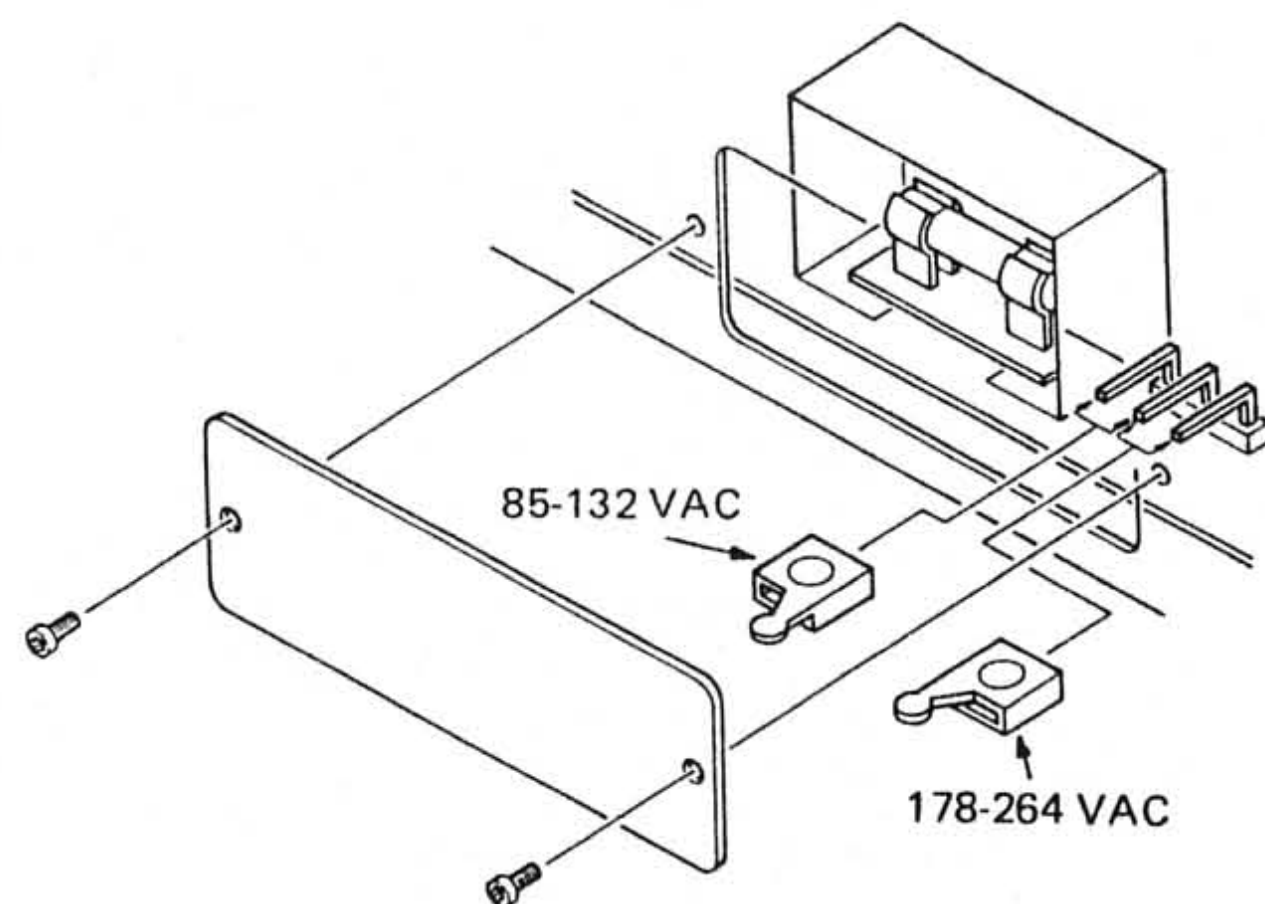
FT-757GXを調整などで100W出力を連続送信する場合には最大30秒以内とし、さらに連続送信が必要な場合は一度受信状態に戻して30秒以上経過してから再度行ってください。

FP-757GXには、FT-757GX/SX用の出力コードとは別に13.5V電圧がとり出せる独立した出力端子がありますから、他のカートランシーバなどの交流用電源としてもご使用いただけます。ただし、FP-757GXの出力電流容量は総合で最大20A（50%デューティサイクルの時）ですから負荷電流の合計が20A（連続使用では10A）を越えることのないようFT-757GXの運用中には他の機器の電源スイッチは切ってください。なお負荷電流が1A以下の場合には出力電圧が15V程度に上昇する事があります。

FP-757GXには負荷電流が約25Aを越えると動作する保護回路があり、過負荷の場合、出力をしゃ断します。

保護回路が動作した場合には、一度電源スイッチを切り、(過電流となった機器の改善、切り離しなどを行った上で) 5秒間以上経過後、電源スイッチを入れ直してください。自動復帰します。

電源電圧の変更は背面中央部のカバーを外し、黒色のショートプラグをカバーに表示してあるよう差しかえてください。表示の電圧範囲で使用できます。



八重洲無線株式会社

東京工場／営業部 東京都大田区下丸子1-20-2 〒146 ☎03(759)7111

秋葉原サービス 東京都千代田区外神田3-6-1 丸山ビル 〒101 ☎03(255)0649

大阪営業所／サービス 大阪市浪速区下寺2-6-13 五十嵐ビル 〒556 ☎06(643)5549

名古屋営業所／サービス 名古屋市南区北頭町4-107 〒457 ☎052(612)9861

福岡営業所／サービス 福岡市博多区古門戸町8-8 吉村ビル 〒812 ☎092(271)2371

須賀川営業所／サービス 福島県須賀川市森宿字ウツロ田43 〒962 ☎02487(6)1161

札幌営業所／サービス 札幌市中央区大通り東4-4 三栄ビル 〒060 ☎011(241)3728

広島営業所／サービス 広島市中区銀山町2番6号 松本ビル5F 〒730 ☎082(249)3334

本社 東京都中央区八重洲1-7-7 〒103

工場 東京 須賀川・福島